

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-536206 (P2004-536206A)  
 【公表日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-047  
 【出願番号】特願 2003-515690 (P2003-515690)  
 【国際特許分類第 7 版】

C 1 4 C 1/08  
 // C 1 1 D 1/72

【F I】

C 1 4 C 1/08  
 C 1 1 D 1/72

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 種のアルコール R O H と、このアルコール R O H 1 モルに対して n モルの少なくとも 1 種のアルキレンオキシドとの反応によって得られる、アルコールアルコキシレートを含むアルコールアルコキシレート型の非イオン性界面活性剤に基づく、ハイド皮、スキン皮革、ペルト毛皮、及びレザーにおける他の中間体及びフュア毛皮製品並びに羊毛又は羊毛に関連する含タンパク質材料を処理するための脱脂剤であって、

上記、R が、5 個～30 個の炭素原子のアルキル基で、その主鎖は、主鎖中央に結合した少なくとも 1 個の C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>-アルキル分枝を有する 4 個～29 個の炭素原子を有する基 R の最長アルキル鎖であり、

前記主鎖中央は炭素原子 C # 2 (この番号付けは、基 R に隣接する酸素原子に直接結合する炭素原子 (C # 1) で開始してなされる。) から始まって、炭素原子 - 2 (は主鎖の最終炭素原子であり、主鎖は C # 2 と炭素原子 - 2 とを含んでいる) で終わり、

アルキレンオキシドが 2 個～6 個の炭素原子を有し、

n が 1～100 の整数であることを特徴とする脱脂剤。

【請求項 2】

1 個～3 個の異なるアルコール R O H に基づくアルコールアルコキシレートの混合物を含む請求項 1 に記載の脱脂剤。

【請求項 3】

主鎖が、鎖の中央に結合した少なくとも 1 種の C<sub>2</sub>～C<sub>4</sub>-アルキル基の分枝を有する請求項 1 又は 2 に記載の脱脂剤。

【請求項 4】

基 R が 10 個～20 個の炭素原子を有し、前記炭素原子の 9 個～19 個が主鎖を形成する請求項 1～3 のいずれかに記載の脱脂剤。

【請求項 5】

アルキレンオキシドがエチレンオキシドである請求項 1～4 の何れいずれかに記載の脱脂剤。

【請求項 6】

$n$  が 3 ~ 15 の整数である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の脱脂剤。

【請求項 7】

アルコール ROH と、このアルコール ROH 1 モルに対して  $n > 6$  モルの少なくとも 1 種のアルキレンオキシドとの反応により得られた少なくとも 1 種のアルコールアルコキシレート、及び

アルコール ROH と、このアルコール ROH 1 モルに対して  $n = 1 \sim 6$  モルの少なくとも 1 種のアルキレンオキシドとの反応により得られた少なくとも 1 種の別のアルコールアルコキシレートに基づくアルコールアルコキシレートの混合物であり、

少なくとも 2 種のアルコールアルコキシレート中のアルコール ROH 及びアルキレンオキシドは同一又は異なっている請求項 1 ~ 6 の何れかに記載の脱脂剤。

【請求項 8】

アルコールアルコキシレートに加えて、使用されたアルコールアルコキシレートに対して、1 質量 % を超えて 25 質量 % の不転化のアルコール ROH を含む、請求項 1 ~ 7 の何れかに記載の脱脂剤。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 の何れかに記載の脱脂剤を使用して、ハイド皮、スキン皮革、ペルト毛皮、及びレザーにおける他の中間生成物及びフュア毛皮製品及び羊毛又は羊毛に関連する含タンパク質材料用の脱脂をする方法。

【請求項 10】

ハイド皮、スキン皮革、ペルト毛皮、及びレザーにおける他の中間生成物及びフュア毛皮製品、及び羊毛又は羊毛に関連する含タンパク質材料の質量に対して、アルコールアルコキシレートが 0.5 ~ 5 質量 % 使用されている請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

更に、15 ~ 45 に温度設定されていることを含む請求項 9 又は 10 に記載の方法。

【請求項 12】

アルコールアルコキシレートが、アルコールとエチレンオキシド及びプロピレンオキシドとの反応によって得られる請求項 1 ~ 4、6 又は 7 の何れかに記載の脱脂剤。